令和3年度第3回函館市生活交通協議会会議録

開催日時	令和3年12月24日（金） 10時～10時40分
開催場所	函館市役所8階大会議室
議 題	(1) 正副会長および監事の選任について (2) 令和3年度函館市地域内フィーダー系統確保維持事業（望洋団地線）の評価について (3) 令和2年度函館市生活交通改善事業計画（UDタクシー等導入促進事業）の評価について (4) その他
出席者	協議会委員 (計20名) 奥平委員，木村委員，西村委員，森委員，渡部委員，金光委員，高村委員， 佐々木委員，経亀委員，武田委員，榎塚委員，田中委員，上月委員， 巳扇委員，宿村委員，山本委員，市丸委員， 横田委員（一般社団法人函館地区ハイヤー協会 専務理事 辻廣氏代理出席）， 富樫委員（函館市女性会議 副会長 石崎氏代理出席）， 久保田委員（北海道警察函館方面函館中央警察署交通第一課企画規制係長 安川氏代理出席） 報道関係 (計 2社) 傍聴者 (計 0名)
欠席者	協議会委員 (計 5名) 今村委員，大岩委員，林委員，廣瀬委員，藤野委員
事務局の出席者の職氏名	函館市企画部計画推進室公共交通担当課長 横山 敬一 函館市企画部計画推進室政策推進課主査 上田 智子 函館市企画部計画推進室政策推進課主任主事 沼田 伸之輔

1 開 会 【事務局／沼田主事】

2 議 題

(1) 正副会長および監事の選任について

【事務局／上田主査】

- ・ 「函館市生活交通協議会設置要綱」第5条第1項の規定により、会長および副会長を各1名、監事を2名置くこととなっており、同条第2項の規定により、会長は委員の互選により定め、副会長は会長が指名することとなっている。また、同条第5項の規定では、監事は委員の互選により定めることとなっている。
- ・ 会長の選任について、皆様いかがか。

【經亀委員】

- ・ 奥平委員が適任と考えている。

【事務局／上田主査】

- ・ そのほか、ご意見はあるか。
- ・ ほかに意見が無いようなので、北海道教育大学の奥平委員に会長をお願いしたいと考えるが、いかがか。

<異議なし>

【事務局／上田主査】

- ・ 奥平委員，承諾いただけるか。

【奥平委員】

- ・ お引き受けする。

【事務局／上田主査】

- ・ よろしくお願い申し上げます。

【奥平会長】

- ・ お忙しい時期のご参集に感謝申し上げます。
- ・ 交通は生活・観光すべてに関連してくる重要な内容であり、皆様と協議してまいりたいと考えている。
- ・ コロナ禍ということもあり、時間短縮を図りつつ、忌憚のない意見を頂戴できればと思う。

【事務局／上田主査】

- ・ この後の進行については、奥平会長にお願いする。

【奥平会長】

- ・ まず、副会長の選任について、会長が指名することとなっているので、宿村委員にお願いしたいと思っているが、宿村委員はいかがか。

<宿村委員承諾>

【奥平会長】

- ・ それではよろしくお願ひ申し上げます。
- ・ 監事2名の選任について、委員の互選によることとなっているが、皆様いかがか。

<会長一任の声>

【奥平会長】

- ・ それでは、函館大学の西村委員と渡島総合振興局の榎塚委員にお願いしたい。皆様いかがか。

<異議なし>

【奥平会長】

- ・ 両委員、いかがか。

<両委員承諾>

【奥平会長】

- ・ よろしくお願ひ申し上げます。

(2) 令和3年度函館市地域内フィーダー系統確保維持事業（望洋団地線）の評価について

【奥平座長】

- ・ 議題（2）の「令和3年度函館市地域内フィーダー系統確保維持事業（望洋団地線）の評価について」、資料に基づき、事務局から説明をお願いする。

【事務局／上田主査】

- ・ （資料1-1, 1-2, 1-3に基づき説明）
- ・ 地域内フィーダー系統確保維持事業と、次の議題にあるUDタクシー等導

入促進事業については、国の補助事業の一つとして実施されており、毎年度、協議会において事業の実施状況の確認および評価を行い、1月に北海道運輸局あてに報告するとともに、その報告内容を公表することとなっていることから、今回協議会に諮る。

- ・ 評価対象事業である地域内フィーダー系統は、バス停、電停、駅、空港等において、地域間交通ネットワークと接続する系統をいう。
- ・ 対象系統の評価としては、令和3年度においては運休もなく、当初計画どおりの運行がなされており、適切に事業が行われたものとして、④の事業実施の適切性においてA評価としている。
- ・ ⑤目標・効果の達成状況についても、計画時点で新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛の影響も鑑みて設定した1便当たり5人の目標に対し、それを大きく上回る1便当たり約8人の結果となっていることから、A評価としている。

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問・意見等はないか。

<質疑なし>

【奥平会長】

- ・ 特に意見がないようなので、本件について、評価案を承認するという事によろしいか。

<異議なし>

【奥平会長】

- ・ それでは評価案を承認する。

(3) 令和2年度函館市生活交通改善事業計画（UDタクシー等導入促進事業） の評価について

【奥平会長】

- ・ 議題（3）の「令和2年度函館市生活交通改善事業計画（UDタクシー等導入促進事業）の評価について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局／上田主査】

- ・ （資料2-1，2-2に基づき説明）
- ・ 当初計画では市内タクシー会社3社から計11台の導入希望があったが、計画策定後、事業者のうち2社から10台分の導入見送りの申し出があり、追加で希望のあった福祉専用タクシー事業者の1台と合わせ、1月に計画の

一部改正を行っており、最終的に2台の導入を計画していた。

- ・ 実績としては、タクシー事業者1社1台については計画通り車両を導入していることから、評価はAとしているが、福祉専用タクシー事業者1者1台については、事業者側の経営上の判断により、導入が見送りとなっていることから、評価をCとしている。

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問・意見等はないか。

<質疑なし>

【奥平会長】

- ・ 特に意見がないようなので、本件について、評価案を承認するということがよろしいか。

<異議なし>

【奥平会長】

- ・ それでは評価案を承認する。

(4) その他

【奥平会長】

- ・ 予定していた議題は以上だが、その他、皆様から何かあるか。

【經龜委員】

- ・ (資料「北海道運輸局管内の状況」に基づき説明)
- ・ 乗り合いバスはコロナ禍において、一定の乗り控えが見られるが、通勤・通学の需要があることから、ある程度の需要を維持しており、3割から4割程度の減少で推移している。
- ・ 一方、貸し切りバスはコロナ禍における行動制限の影響を色濃く受けており、7割から8割減となっている。残る2割程度についても、スクールバスなどが含まれていることを考えると、ツアーバス等の需要がほとんどなくなっていることに留意する必要がある。
- ・ タクシー事業者については、乗り合いバスに近い傾向が見られ、4割から5割程度の減少となっている。
- ・ その他、フェリーや鉄軌道についても、多少の減便などは行いつつ、公共交通として路線を維持し続けてきている。
- ・ 12月20日に成立した、国の第3次補正予算のうち、交通関係は285億円となっている。

- ・ 国としても、地域公共交通の維持に支援をしていきたい。

【奥平会長】

- ・ 経亀委員の説明と関連し、公共交通事業者の皆様より、最近の状況についてご説明いただきたい。
- ・ J R北海道からお願い申し上げます。

【金光委員】

- ・ J R北海道では、コロナ禍前の令和元年度と比較し、令和2年度、3年度ともに、上期の収入は40%から50%減で推移しており、大変厳しい状況となっている。
- ・ 国の緊急事態宣言解除後、今年の10月と11月は、団体旅行や取りやめとなっていた修学旅行等の再開があり、コロナ前との比較で20%から30%減まで回復してきている。
- ・ 北海道からの補助を活用した6日間の周遊パスの値引きや、J R東日本と共同で東京までの新幹線切符を半額で利用できる割引切符、函館周辺のローカル電車の乗り放題パスポートなど利用促進策にも取り組んでいる。
- ・ 年末年始の予約状況は、2年前には及ばないが、対昨年度比では、札幌までの便が約2倍、北海道新幹線についても約1.8倍と伸びてきており、帰省等で長距離を移動するお客様が増えてきていると実感している。
- ・ 10月からの回復基調を今後も続けられるよう、コスト削減などの従前の取り組みも続けつつ、利用促進を図り、事業運営に取り組んでいきたい。

【奥平会長】

- ・ 次にバスの状況についてはいかがか。

【森委員】

- ・ 2年にわたるコロナ禍で大変なダメージを受けている。
- ・ コロナ禍前の令和元年と比較し、乗合バス事業はおおよそ35%減、貸切バス事業においては30%減となっており、バス事業の回復というにはほど遠い状況となっている。
- ・ 燃料費も非常に高い価格で推移しており、経営に大きな影響を与えている。
- ・ 貸切バスも、一時期よりは良くなってきているが、教育旅行が中心となっており、土日の需要は低いままとなっている。
- ・ 10月13日の日本経済新聞に日本バス協会として意見広告を掲載している。バスの現状をご理解いただき、バスが北海道からなくなるかもしれない、という状況を考えてほしいという内容で、北海道新聞にも掲載を予定している。
- ・ G o T oトラベル等の各種支援事業には大変な期待を寄せており、北海道の支援事業である「ぐるっと北海道」についても堅調に推移はしている。

- ・ 地域の観光振興やクルーズ船の対応など、貸切事業の役割は大きいものとなっており、今後のご協力、ご支援をお願いしたい。

【奥平会長】

- ・ 次にタクシーの状況についてはいかがか。

【一般社団法人函館地区ハイヤー協会 辻廣専務理事（横田委員代理出席）】

- ・ タクシー事業としては、既にコロナ禍であった前年より更に3%下回る状況となっており、コロナ前である2年前と比較すると、40%減となっており、大幅に下がっている。
- ・ 緊急事態宣言解除とともに、少し上向いてはいるが、新生活スタイルが定着したのか、夜や観光客の需要が大きく落ち込んでいる。
- ・ 運転手一人当たりの手取りを確保するため、運輸局の許可を得て、運行する台数自体を減らすような対応をとっている。函館管内では800台ほどの登録台数があるが、現在はその半数程度しか走っていない状況である。
- ・ それでも、現在の運転手の一人当たりの手取りは10万円程度となっていることから、新しい運転手を確保することが極めて難しい状況となっている。
- ・ これらのような状況から、先ほど事務局から説明のあったUDタクシーについても、事業者の判断で、やむを得ず導入を先送りすることとなっている。その一方で、3月末よりはUDタクシー車両が現時点で4台ほど増えており、各事業者において可能な努力は進めている。
- ・ この12月には、1万円のタクシークーポンを7千円で購入できるという事業を行っており、函館管内で1,800冊販売している。今後、これが活用され、売り上げが戻ってくることを期待している。

【奥平会長】

- ・ そのほか、事務局から何か補足はあるか。

【事務局／上田主査】

- ・ 本日、所用のため欠席となっている道南いさりび鉄道株式会社と市電について、各事業者から事前に伺った内容についてご報告する。
- ・ 道南いさりび鉄道の令和2年度の輸送実績については、他の交通事業者と同様に、外出控えや花火大会等のイベント中止、マイカー通勤へのシフト等の要因により、運輸収入の令和元年度比で約3割減となっており、令和3年度上期においても令和元年度比で約4割減と厳しい状況にある。
- ・ そのような状況の中で、開業5周年記念事業として記念乗車券の販売や、道庁でのパネル展示の実施、地元町内会へのPR活動など、利用促進を図り、コロナ後の利用拡大に向け、取り組みを進めていると伺っている。
- ・ 市電についても同様に、コロナ禍による観光客の減少が大きく影響し、令和2年度以降現在までの運輸収入が、令和元年度比で約4割減と厳しい状況

が続いているが、緊急事態宣言解除後は、延期されていた修学旅行生の利用など、観光客増加の明るい兆しも見られ、今後も感染症対策を徹底し、安全運行に努めていくと伺っている。

【奥平会長】

- ・ お聞きのとおり、公共交通事業者はコロナ禍により非常に厳しい状況の中、公共交通の維持、確保に努められており、この場をお借りして感謝を申し上げます。
- ・ 市民に利用していただく必要があるのは勿論であるが、私たちもこの会議の場で、公共交通の利便性を高めていくということを考えていきたいと思うので、ご協力をお願いしたい。
- ・ 事務局から何かあるか。

【事務局／上田主査】

- ・ 次回協議会については、2月頃に開催を予定しており、日程が近付いたら改めてご案内する。

【奥平会長】

- ・ 他になければ、これで予定した議事をすべて終了したので、進行を事務局にお渡しする。

3 閉 会 【事務局／沼田主事】